

BX止水板 ラクセット

(WPB-301A型)

取扱説明書



お手元にラクセットが届きましたら、必ず1度設置して、開口に合うか、設置に支障はないか(ドアノブに当たってしまうなど)のご確認をお願いいたします。

ご使用の皆様へ



この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

お施主様、管理者様へ

本製品を長期間安全にご使用いただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。19 ページをご覧ください、必ず実施してください。

販売店様、施工店様、建設会社様へ

この取扱説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。



安全にお使いいただくために

安全にお使い
いただくために

- 「ラクセット」のご使用前に「ご使用上の注意」をよく読み、充分理解してからご使用してください。

- 安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、本取扱説明書では次のようなシンボルマークとシグナル用語で危険のレベル分けをしています。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性があり、かつその危険性と隣りあわせであることを示しています。

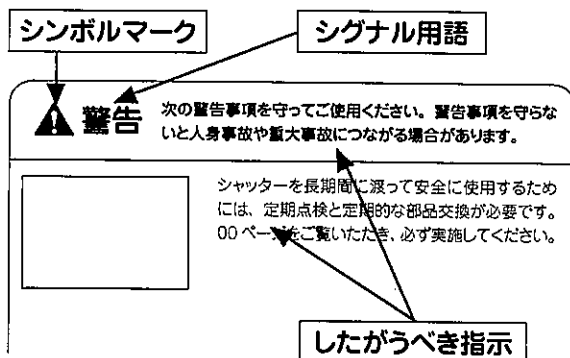


取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うかまたは物的損害を被る可能性があることを示しています。

本文では以下のように使用します。



「シグナル用語」に続く「したがうべき指示」を充分守らないと、人身事故につながるようになります。

- 上記以外の「お知らせ」には次のようなシグナル用語を使用しています。

注 記

取扱いを誤った場合に、本製品に故障が発生したり、性能が発揮できないことが想定される場合。

はじめに

- この取扱説明書は、実際に「ラクセット」をご使用になる方（管理者・オーナー）のために使用方法を説明したものです。
- 最初に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、「ラクセット」をご使用ください。
- 取扱い経験のある方でも、少しでも不確かな点がございましたら、この取扱説明書をよくお読みのうえ、確かめてから「ラクセット」をご使用ください。

目 次

1.  ご使用上の注意.....	2
表示ラベルについて	2
基本的な注意	2
中柱使用時の注意.....	5
2. 製品の概要	6
ラクセット本体の名称	6
製品仕様.....	6
3. ご使用方法	7
ご使用の前に.....	7
設置方法	8
中柱の設置方法	13
片付け.....	16
収納.....	17
4. お手入れ方法.....	18
お手入れの仕方	18
5. 点検	19
定期点検と定期的な部品交換について.....	19
6. 修理のご案内	20
7. 製品保証.....	裏表紙

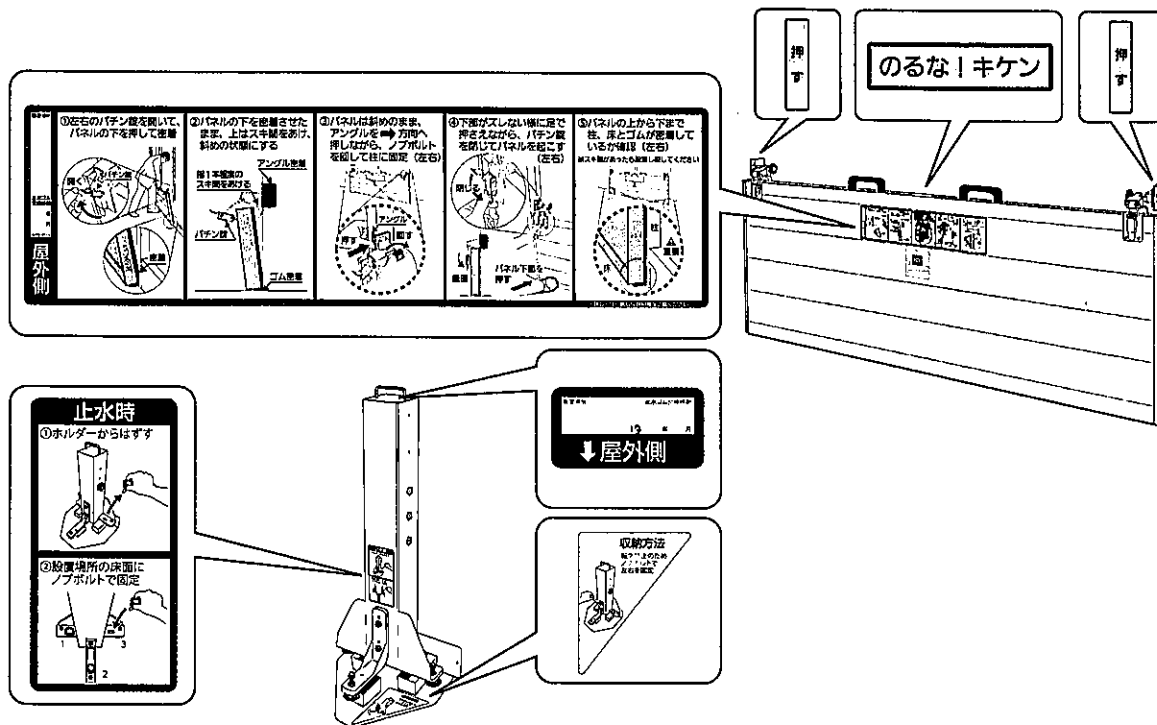
1. ご使用上の注意

- この章に記載されている内容をよくお読みいただき、完全に理解したうえで「ラクセット」をご使用ください。
- この取扱説明書は必要なときに、いつでも取り出して読めるように大切に保管してください。
- 「ラクセット」に貼付されている表示ラベルとこの取扱説明書に表示されているすべての注意および指示に必ずしたがってください。

表示ラベルについて

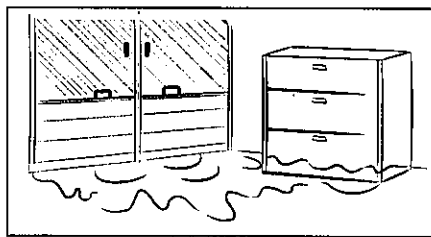
- 本製品には、危険と安全に関する警告情報と設置に関する情報を記載した、以下の表示ラベルを貼り付けています。表示ラベルの指示には必ずしたがってください。

注
ご
使用
上
の
意

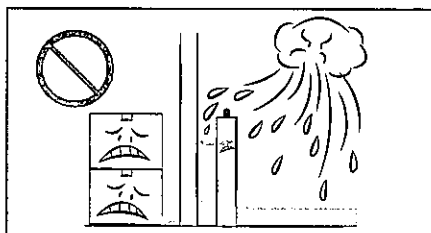


基本的な注意

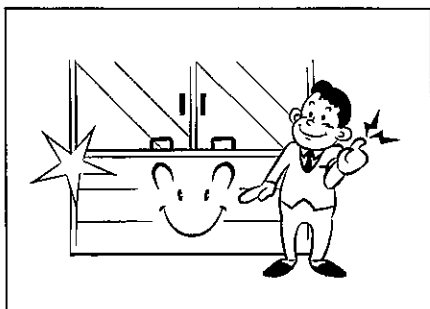
⚠ 注意 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



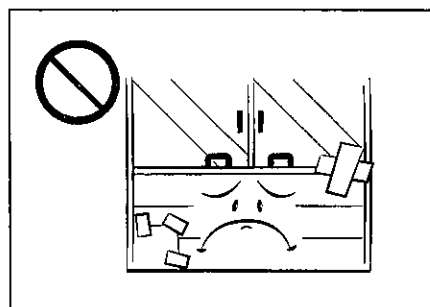
「ラクセット」は完全に止水できる製品ではありません。流入する水の量により、屋内側に置いてある物品が濡れるおそれがあります。また、設置箇所の状況、設置環境、設置の仕方や設置のタイミングにより止水性能は変わります。



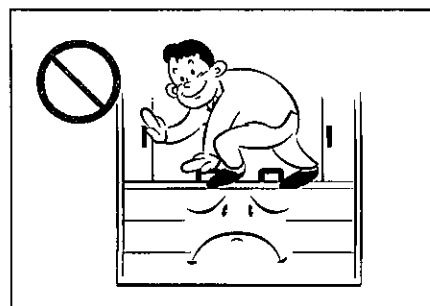
「ラクセット」はパネル前面からの水の流入を防ぐ製品です。そのため、建物と「ラクセット」の間に降り込んだ雨水は防ぐことができず、屋内側に流入するおそれがあります。



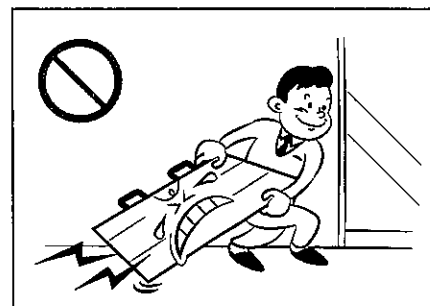
「ラクセツト」を安全に使用するために、お客様による定期的なお手入れが必要です。14ページの「お手入れ方法」をご覧ください、必ず実施してください。



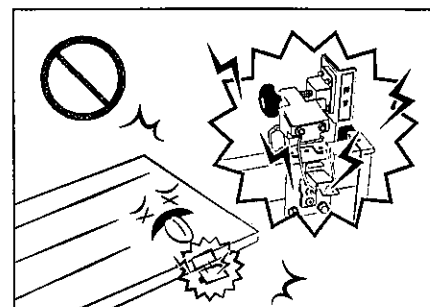
「ラクセツト」の修理・交換・改造は専門知識が必要です。当社の手配によらない修理・交換・改造は絶対にしないでください。修理・交換・改造により、その他の部位にも故障が生じたり機能が発揮されず損害が発生する危険性があります。修理・交換が必要な場合は、最寄りの文化シャッター営業所にご依頼ください。



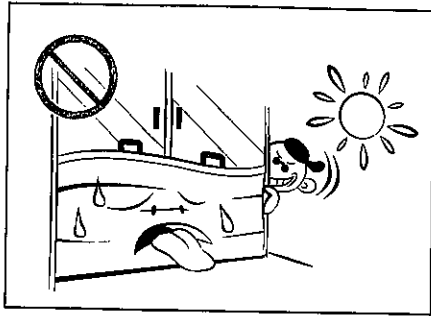
「ラクセツト」をまたぐ場合、体や衣服を引っ掛けないよう注意してください。また「ラクセツト」を踏み台にしてまたがないでください。設置後は、止水板や金具などの付属品に不必要に触れないでください。



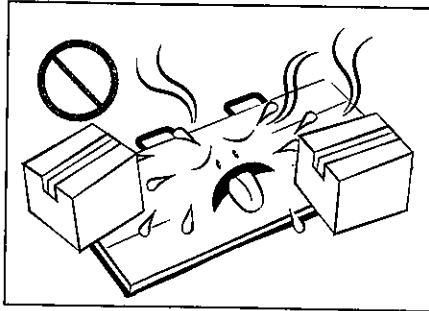
「ラクセツト」を扱う際は引きずらないでください。「ラクセツト」が傷ついたり、止水ゴムが損傷したりするおそれがあります。



「ラクセツト」を設置したり、片付けたりする際に「ラクセツト」を倒さないようにしてください。パチン錠などが変形し、正しく設置できず本来の機能が発揮出来なくなるおそれがあります。

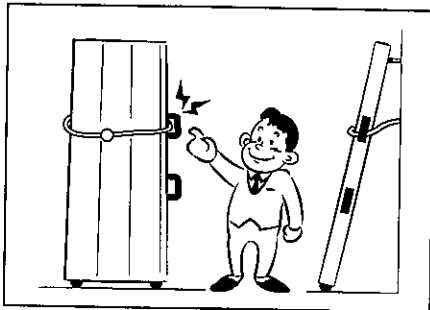


雨天以外で長時間設置したまま放置しないで早めに片付けてください。「ラクセット」が破損したり劣化したり、盗難されるおそれがあります。



「ラクセット」はできるだけ高温・多湿をさけて保管してください。また、保管時に上にもものを載せないでください。

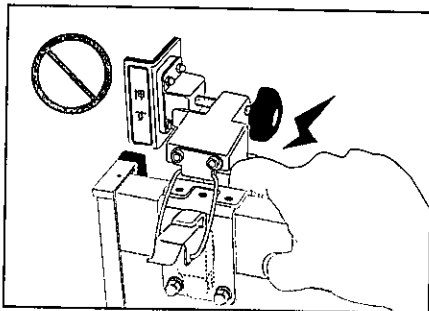
「ラクセット」に付属している止水ゴムが変形しないように保管してください。



立て掛け収納の場合、ワイヤーロックを持ち手に通して「ラクセット」にまわし、保管してください。



フック収納の場合、壁掛けフックを踏み台にするなど、体重をかけたりしないでください。また、「ラクセット」以外のものを引っかかないでください。



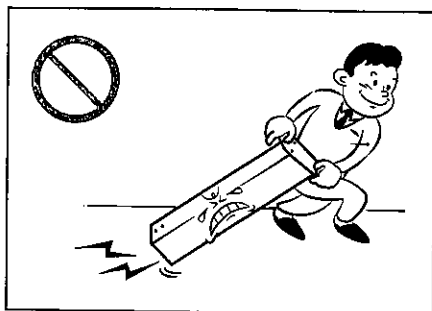
可動部の隙間に指や手を入れないでください。パチン錠の動きで指や手を挟んでけがをするおそれがあります。

中柱使用時の注意

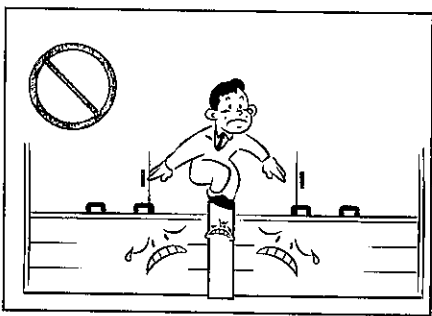


注意

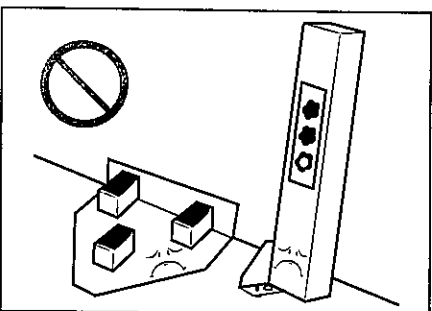
次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながるおそれがあります。



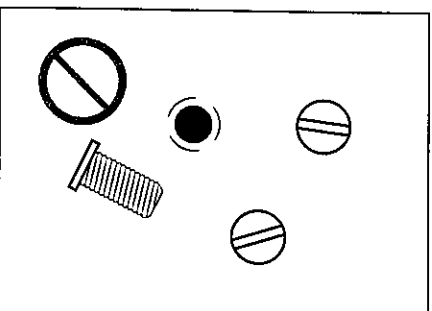
「中柱」を扱う際は引きずらないで下さい。
「中柱」が傷ついたり、底部のゴムが変形し止水性能を発揮できなくなります。



「中柱」を踏み台にしてまたがないでください。
転倒やけがにつながるおそれがあります。



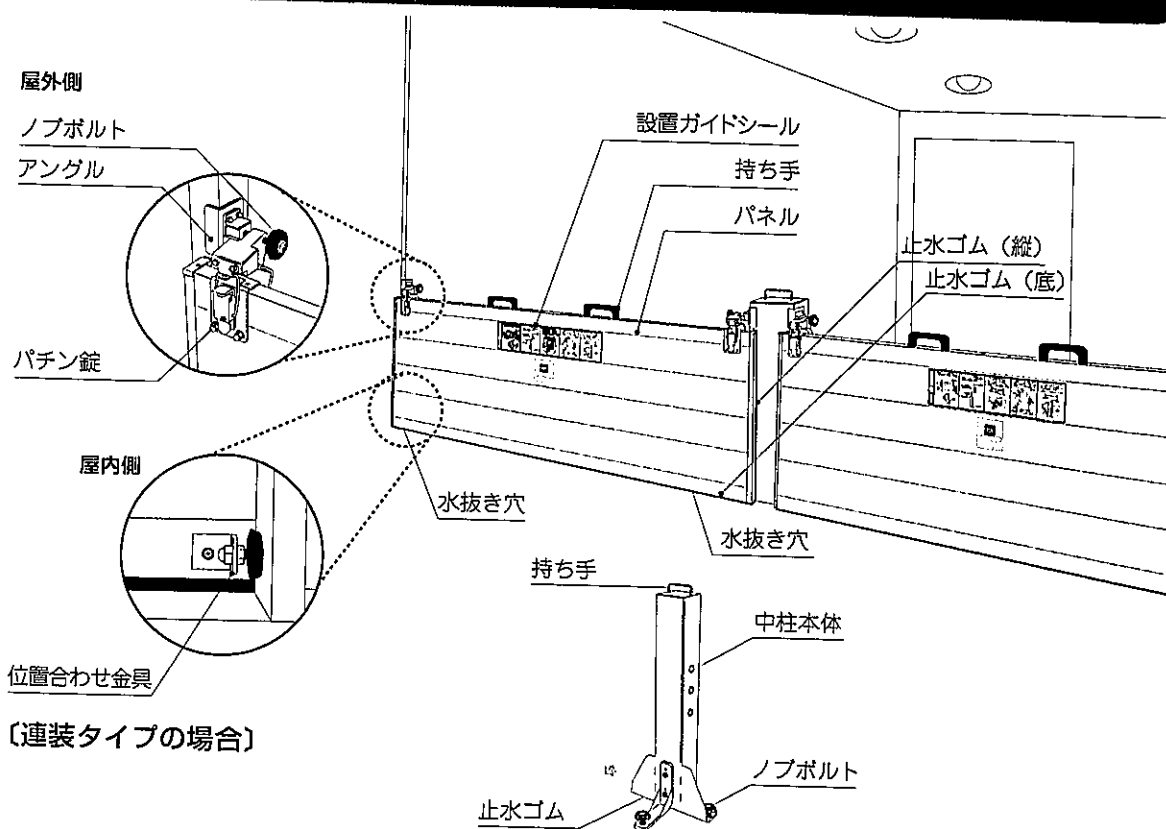
「中柱」は専用の「中柱ホルダー」に立てて収納してしてください。正しく収納しないと「中柱」底部の止水ゴムが変形し止水性能を発揮できなくなります。



「塞ぎねじ」が外れた状態で放置しないでください。「中柱」を設置するためのアンカーボルトに砂やゴミが詰まると「中柱」を設置できなくなります。

2. 製品の概要

ラクセット本体の名称



製品仕様

名称	材質	重量
ラクセット	パネル	アルミニウム押出形材
	止水ゴム	EPDM
	持ち手	AES樹脂
	パチン錠	ステンレス
	アングル	ステンレス
	ノブボルト	ナイロン樹脂
	位置合わせ金具	ステンレス、ASA
収納セット	立て掛け収納セット (標準)	—
	フック収納セット (オプション)	—
	スタンド収納セット (オプション)	—
中柱	本体	スチール
	止水ゴム	EPDM
	ノブボルト	ナイロン樹脂
中柱ホルダー	本体	スチール
取扱説明書	—	—

<設計耐用年数>

10年

- 「設計耐用年数」は保証値ではありません。保証期間については「7. 製品保証」を参照してください。
- 「設計耐用年数」はお客様による適切な維持・管理とお手入れを実施した場合の数値です。なお、沿岸部、温泉地帯、化学・薬品工場などの腐食性環境や、大気中の砂塵、煙などが製品に付着する場所、および高温、低温、多湿などの使用環境下では、記載数値を満足しないことがあります。

3. ご使用方法

- 「ラクセット」は完全に止水できる製品ではありません。流入する水の量により、屋内側に置いてある物品が濡れるおそれがあります。濡れて困る物品はあらかじめ移動させてください。
- 設置箇所の状況、設置環境、設置の仕方や設置のタイミングにより止水性能は変わります。

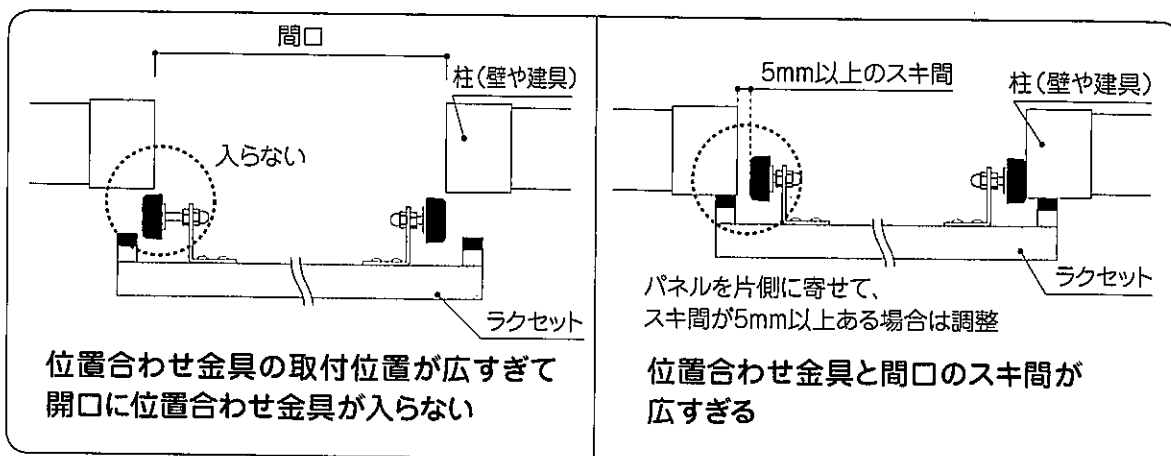
ご使用の前に

「ラクセット」がお手元に届きましたら、実際に設置確認を行ってください。位置合わせ金具が枠に当たり間口に入らない場合は、下記位置合わせ金具調整方法に従い調整してください。その他製品の不具合で設置ができない場合は、文化シャッター(株)支店、営業所もしくは取扱店にお問い合わせください。

〔連装タイプの場合〕

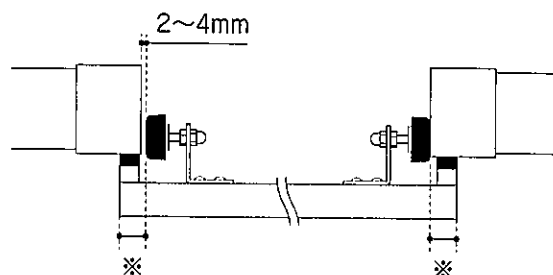
止水設置の前に中柱の設置が必要です。中柱の設置方法は13ページをご覧ください。

- 以下の場合、位置合わせ金具を調整してください。

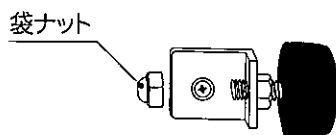


位置合わせ金具調整方法

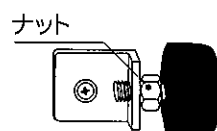
- スキ間がほとんどなくなる程度に調整します(2~4mm)。
図中※の寸法はだいたい同じくらいになるように調整してください。
必要工具：スパナM6用(10番)



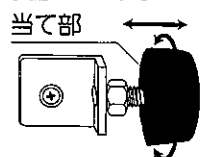
1 袋ナットを外します。



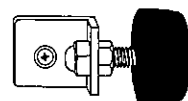
2 ナットをゆるめます。



3 当て部を回して位置合わせ金具の幅を調整します。



4 ナットを締めてから、袋ナットを締めて調整完了です。

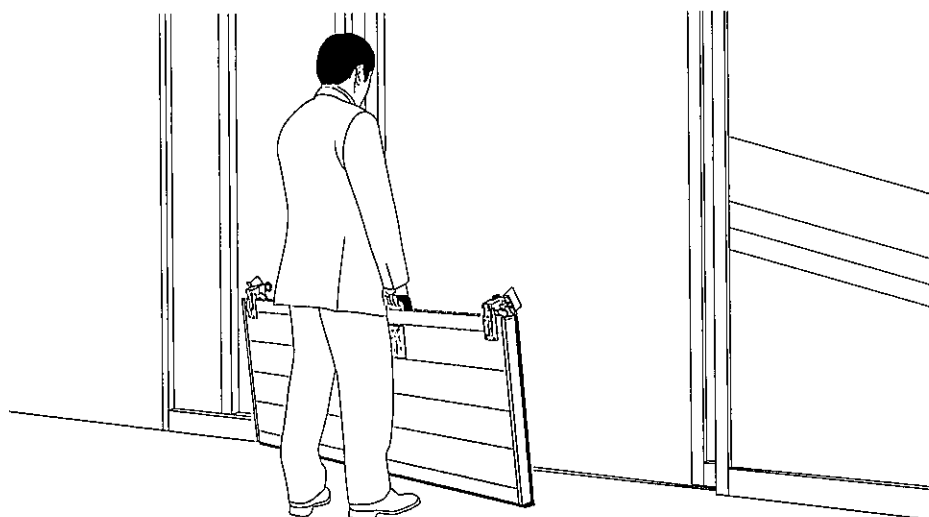


設置方法

⚠ 注意 持ち手をしっかり握って、落としたり引きずらないように注意してください。また周囲にぶつけないように注意してください。

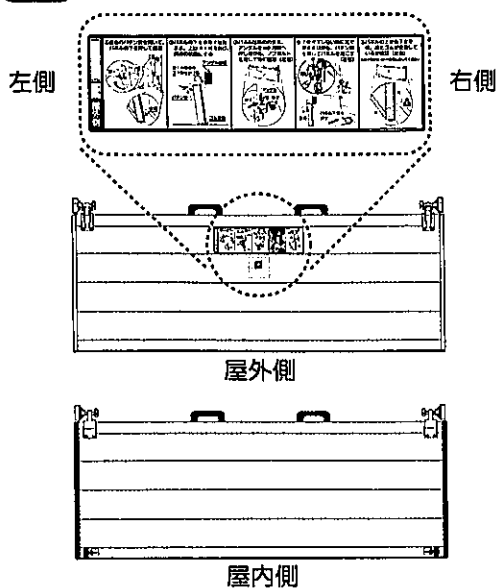
連装タイプの場合、「ラクセット」設置の前に中柱の設置が必要です。13ページを参照し中柱を先に設置してください。

1 保管場所から間口にあった「ラクセット」を持ってきます。

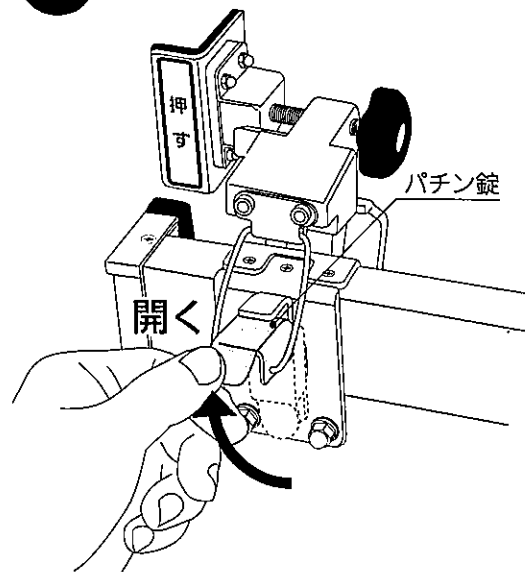


●屋外側

2 設置ガイドシールをみて屋外側を確認します。



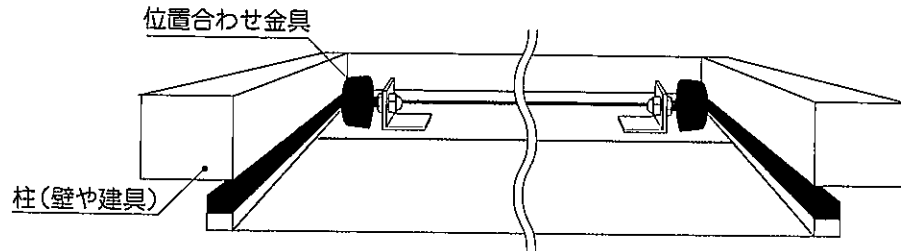
3 パチン錠の先端を持ち、左右のパチン錠を開きます。



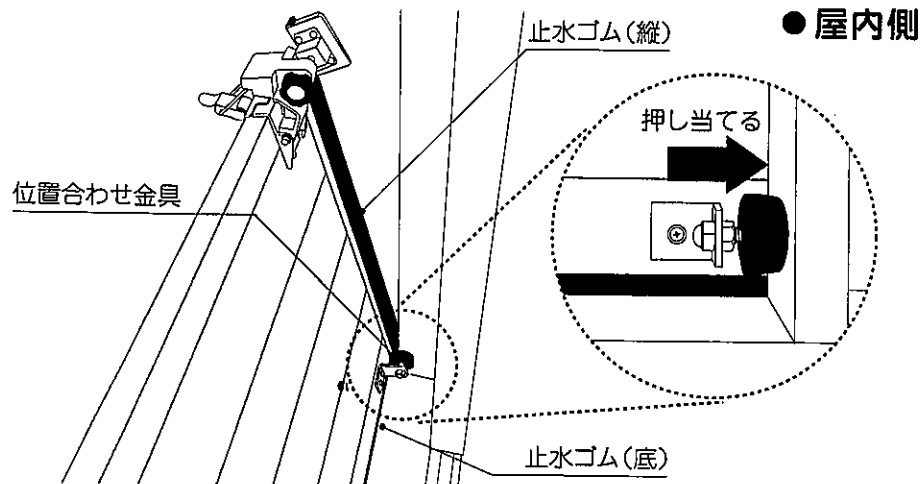
4

「ラクセット」の位置を決めます。

- ① 「ラクセット」のパネル下部（屋内側）の位置合わせ金具が柱（壁や建具）の内側に入っている事を確認します。

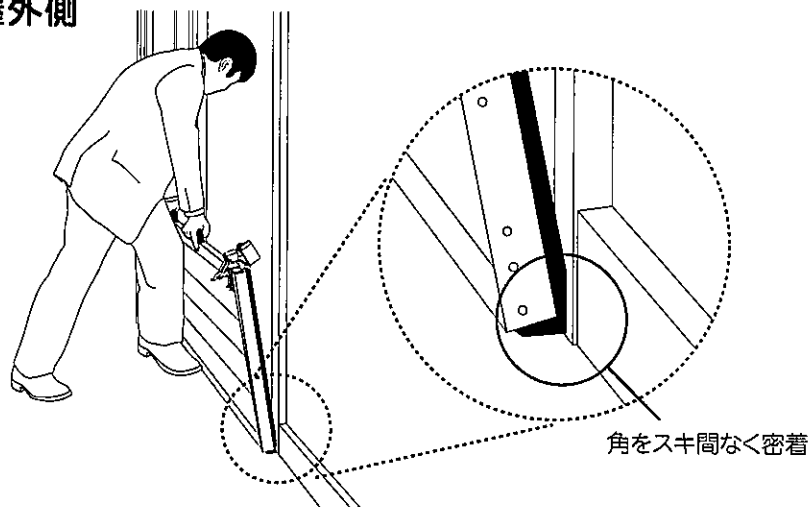


- ② 「ラクセット」を左右どちらかに寄せて、位置合わせ金具を柱（壁や建具）に押し当てます（反対側の位置合わせ金具と壁にはスキ間があきます）。

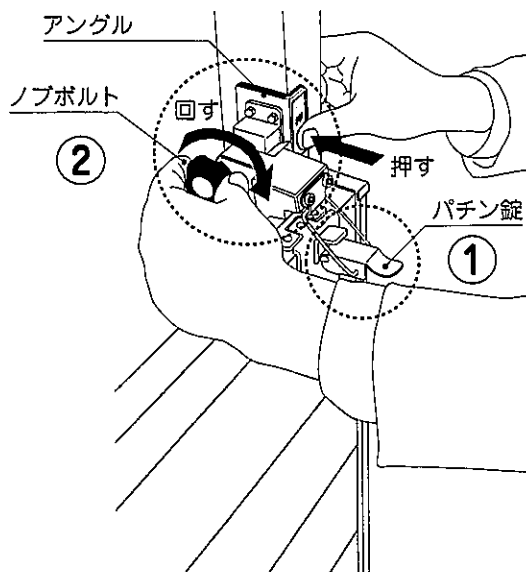


- ③ 止水ゴムの下の角を柱（壁や建具）と床のコーナーにスキ間なく密着させます。

●屋外側

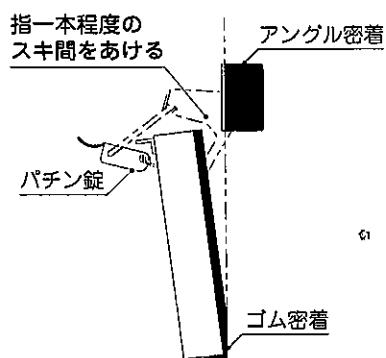


- 5** 「ラクセット」のパネル下部を密着させたまま上はスキ間をあけ、斜めの状態にします。決めた位置がずれたり倒れないようアングルの「押す」シールを押さえながら、ノブボルトを回してアングルを柱（壁や建具）に固定します。

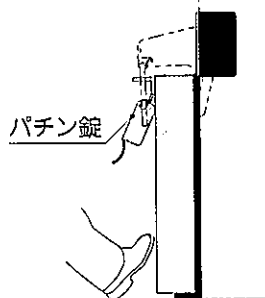


① パチン錠が開いていることを確認してください。

② 「ラクセット」のパネルは斜めの状態のまま、アングルの「押す」シールを押さえながら、ノブボルトを時計まわりに少し重く感じるくらいまで回して、柱（壁や建具）に固定してください。



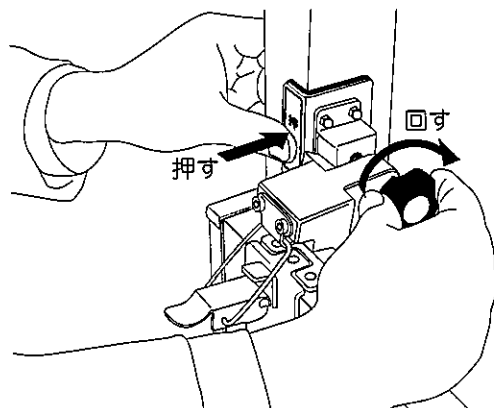
⚠ 注意



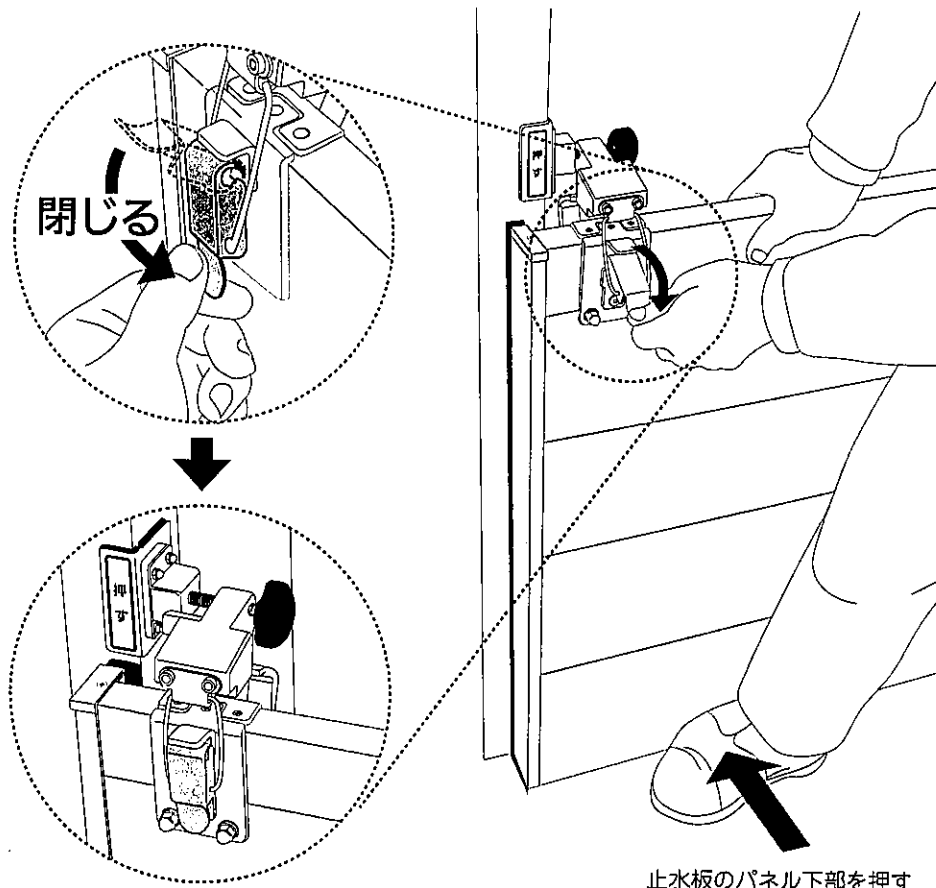
ノブボルトを回す際に、足等でパネルを押さないでください。パチン錠が閉じてしまい、ゴムが密着しにくくなります。

注 記 ノブボルトの締めすぎにご注意ください。部材の破損や建具の変形につながるおそれがあります。

- 6** 手順5と同様の方法で反対側のノブボルトも締めて止水板を固定します。



- 7** 「ラクセット」のパネル下部がズレないように足で押さえながら、パチン錠を閉じて「ラクセット」を垂直に起こします。



万が一アングルがずれた場合は手順5に戻り、少し強めにノブボルトを締め直すようにしてやり直してください。

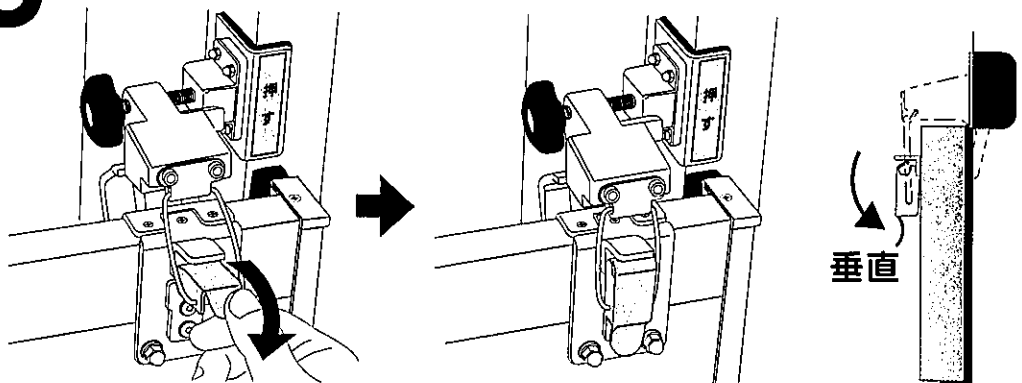


注意

パチン錠を閉める際に、可動部の隙間に指や手を入れないでください。パチン錠の動きで指や手を挟んでケガをするおそれがあります。

8

手順7と同様の方法で反対側のパチン錠も閉じて「ラクセット」を垂直に起こしたら、設置完了です。



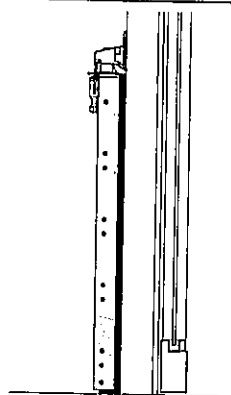
9

止水ゴムと床や柱（壁、建具）の間のスキ間が密着していることを確認してください。スキ間がある場合は、もう一度はじめから設置を行ってください。また、「ラクセット」のパネル上部を持ち、軽く揺らしてみ、外れないことを確認してください。スキ間があったり、「ラクセット」ががたついたり外れたりするようであれば、もう一度はじめから設置を行ってください。

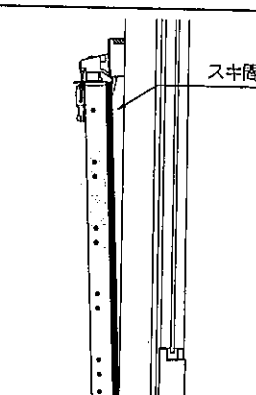


注意

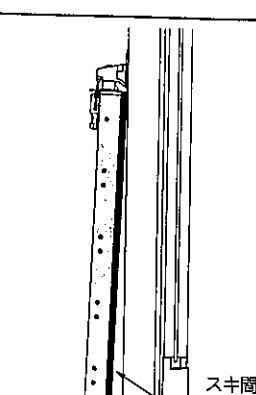
「ラクセット」が正しく設置されていないと性能が発揮されず物的損害を被る可能性があります。



止水ゴムと壁や建具の間が上部も下部も密着している

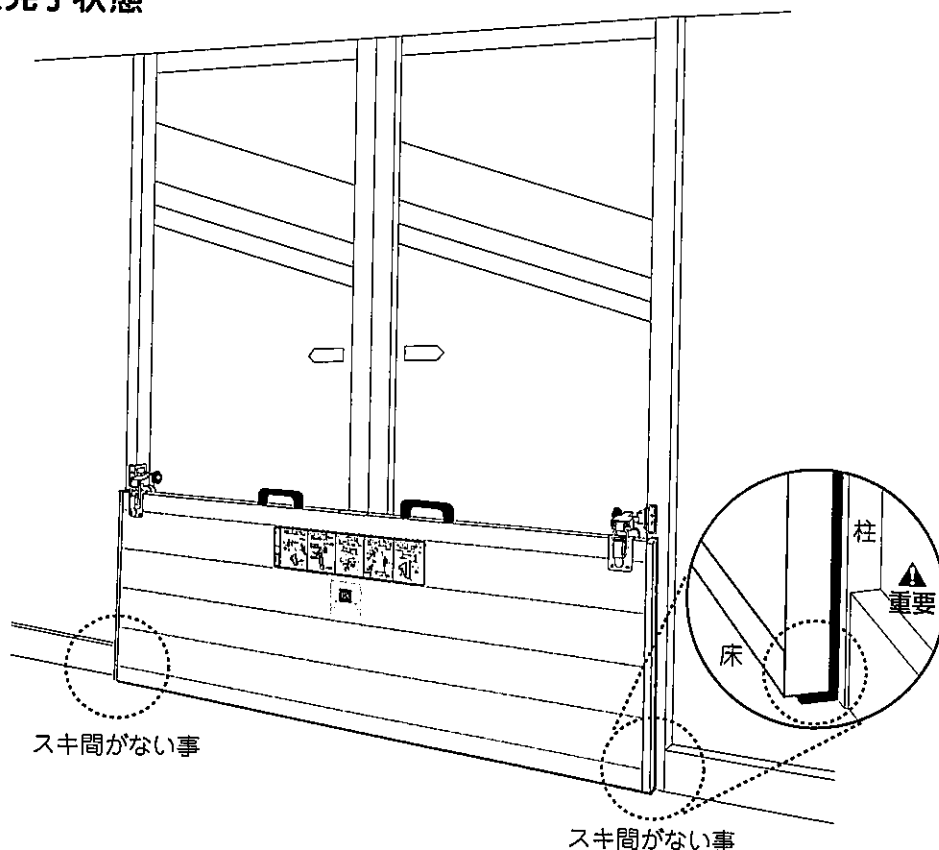


止水ゴムと壁や建具の間が下部は密着しているが上部はスキ間があいている



止水ゴムと壁や建具の間が上部は密着しているが下部はスキ間があいている

設置完了状態



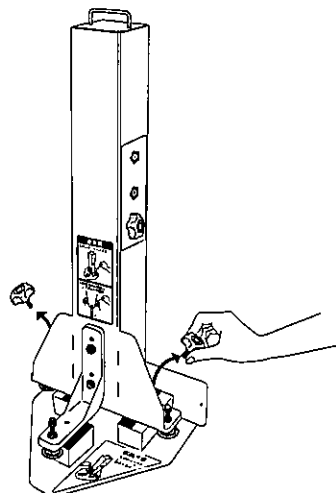
スキ間がない事

スキ間がない事

中柱の設置方法

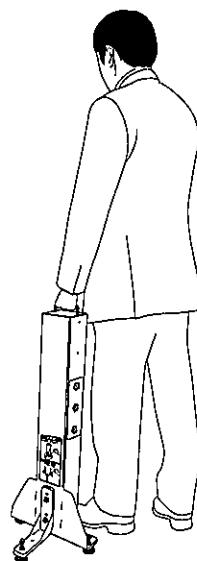
1

ノブボルトを回し中柱ホルダーから中柱を外します。
※ノブボルトは設置に使用するので、
間口まで持っていきます。



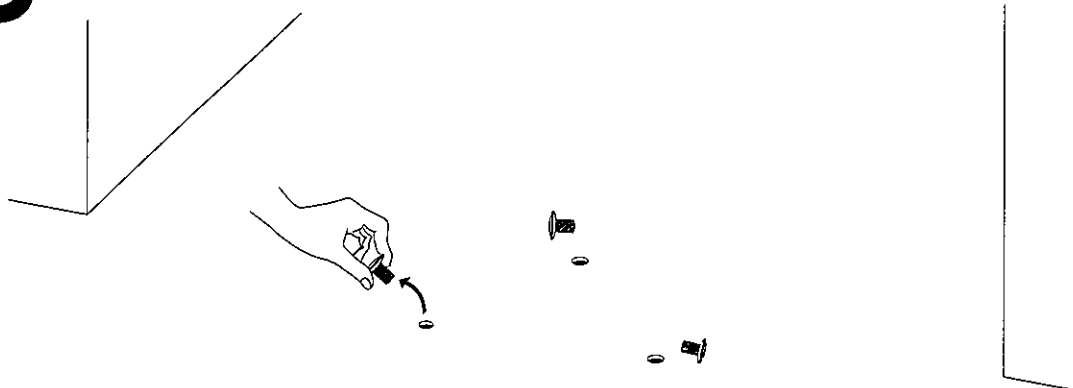
2

保管場所から中柱を持っていきます。
※中柱を引きずらないように注意
してください。底部の止水ゴムが変形し
止水性能を発揮できなくなります。



3

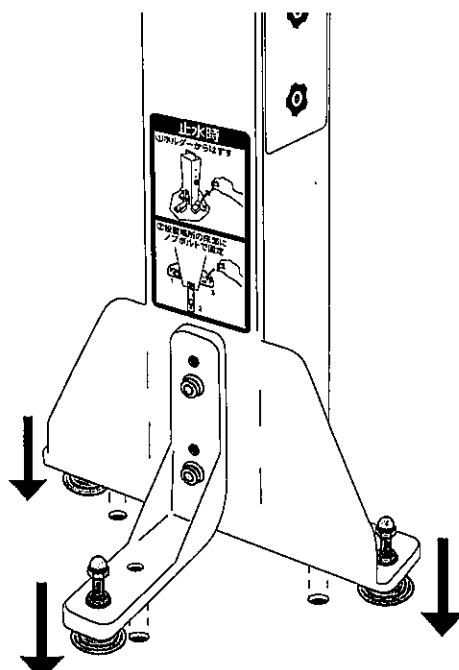
床面の塞ぎねじをコインやマイナスドライバー等で外します。



※外した塞ぎねじはなくさないように注意してください。

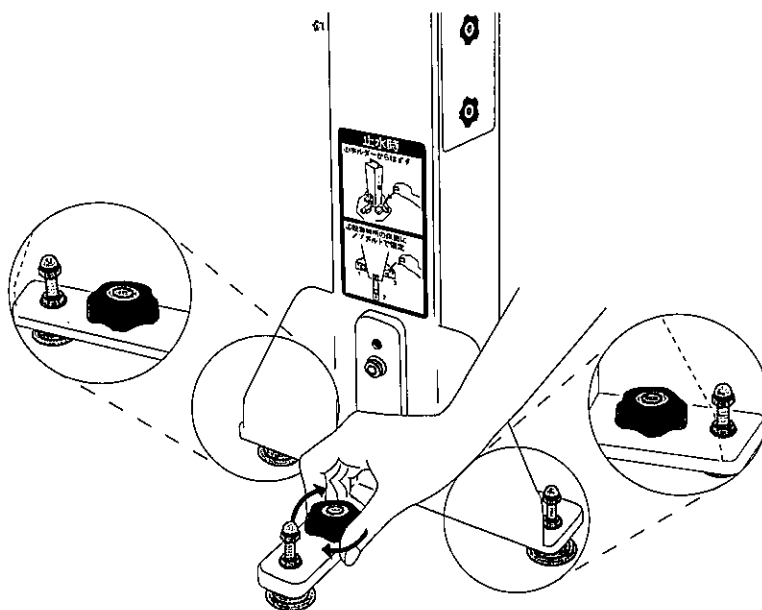
4

床のアンカーのねじ穴に合わせて
中柱をおきます。



5

ノブボルトで中柱を固定します。



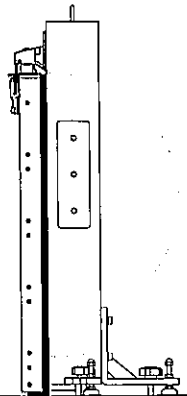
6

8～12ページを参照し「ラクセット」を設置してください。設置後は止水ゴムと床や柱（壁、建具）、中柱の間のスキ間が密着していることを確認してください。スキ間ある場合は、もう一度「ラクセット」の設置を行ってください。

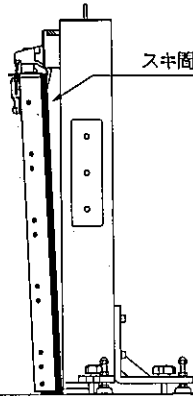


注意

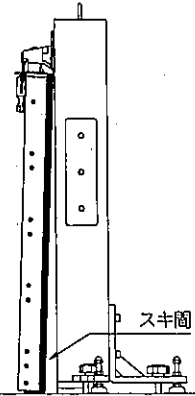
「ラクセット」が正しく設置されていないと性能が発揮されず物的損害を被る可能性があります。



止水ゴムと壁や建具の間が
上部も下部も密着している

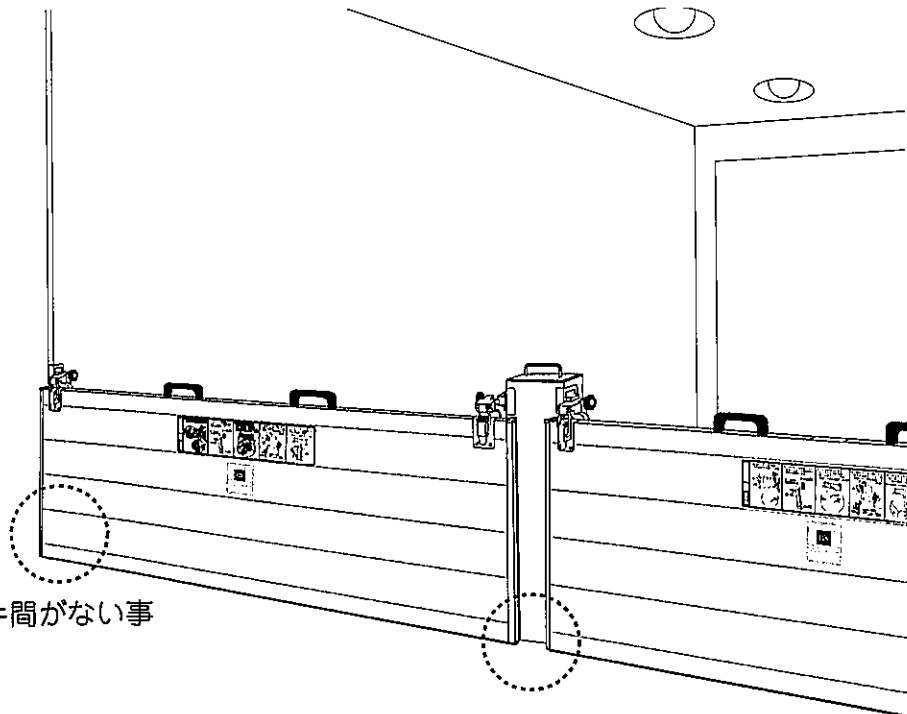


止水ゴムと壁や建具の間が
下部は密着しているが
上部はスキ間があいている



止水ゴムと壁や建具の間が
上部は密着しているが
下部はスキ間があいている

設置完了状態



スキ間がない事

スキ間がない事

片付け

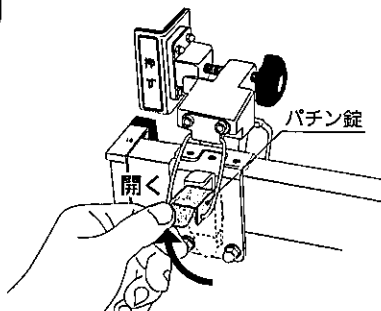
注 記

「ラクセット」は水に浸った際、止水板のパネルの中および中柱の中に水が入ります。水に浸った後は、「ラクセット」のパネル下部の水抜き穴から水が抜けたのを確認してから、収納してください。中柱の水抜き方法はこのページ P16 の手順 6 を参照してください。連装タイプの場合は「ラクセット」、「中柱」の順番で片付けをして下さい。

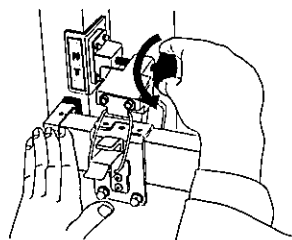
〔連装タイプの場合〕

中柱の片付けは「P13 中柱の設置」の逆の手順で行って下さい。

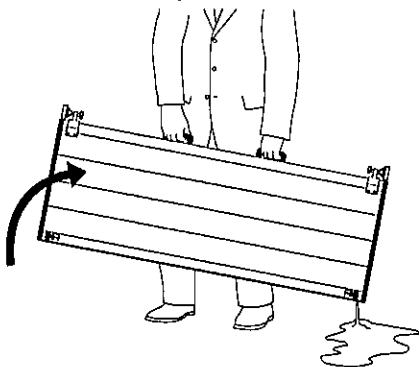
- 1** パチン錠の先端を持ち、パチン錠を左右とも開きます。



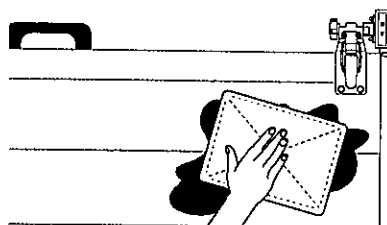
- 2** ノブボルトを反時計まわりに回して固定を解除します。「ラクセット」が倒れないよう手で「ラクセット」をおさえて行なってください。



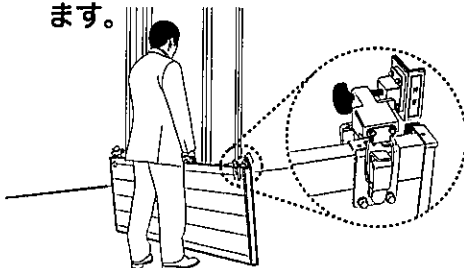
- 3** 「ラクセット」のパネル内部に水が残っている場合は、「ラクセット」を傾けて水を抜いてください。(下部に水抜き穴が2箇所あります。)



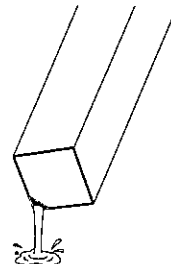
- 4** 「ラクセット」がぬれている場合は、水気を切りよく乾かしてください。止水ゴムが湿っていないか確認してください。「ラクセット」に汚れがある場合は、水洗いしてから柔らかい布などで表面の汚れを軽く拭き取り、よく乾燥させてください。



- 5** 「ラクセット」に破損がないか、傷やゆがみががないか確認し、パチン錠を閉じて保管場所に戻します。

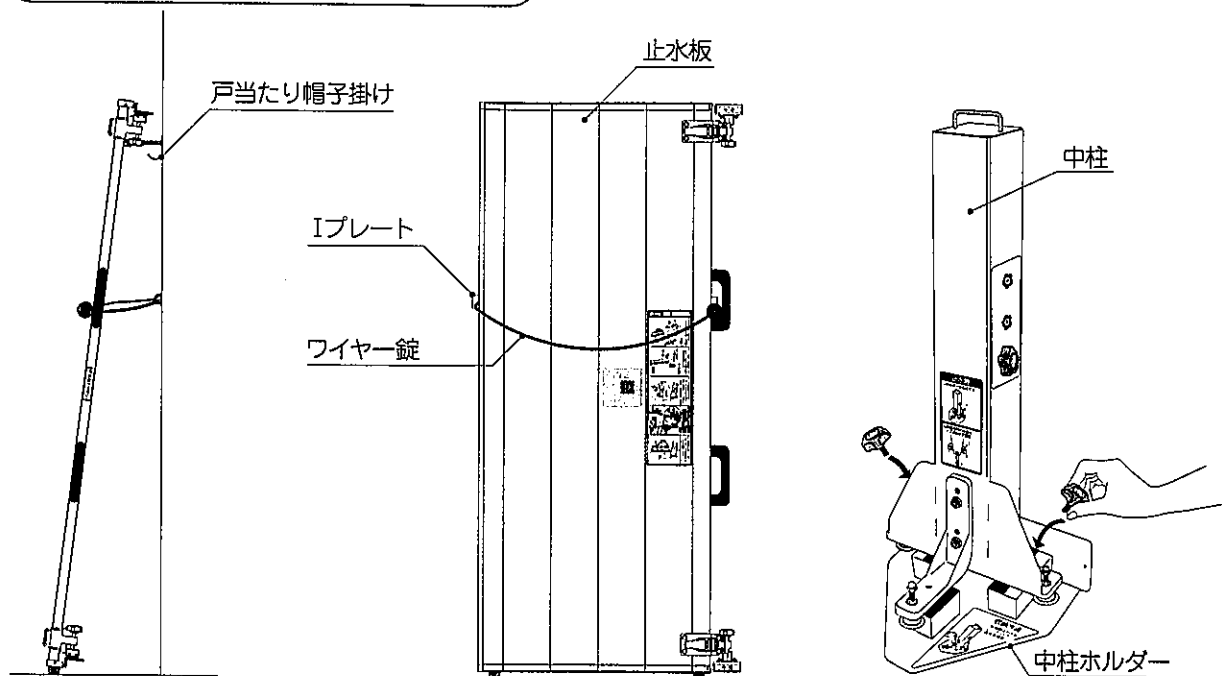


- 6** 連装タイプの場合、使用後、中柱の中に水が入っている場合逆さにして水を抜いてください。

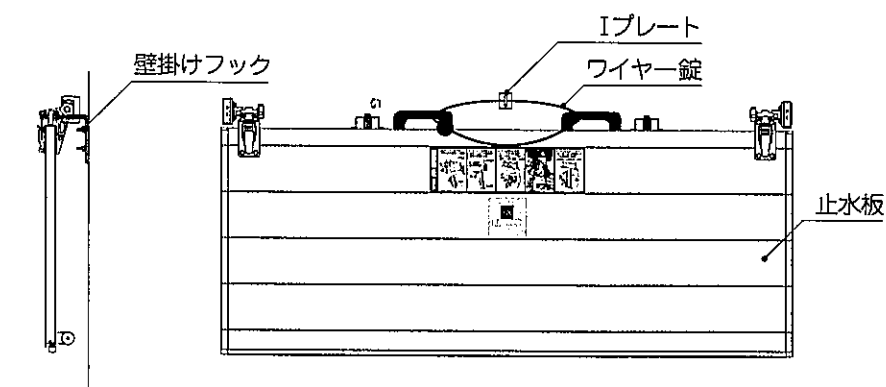


収納

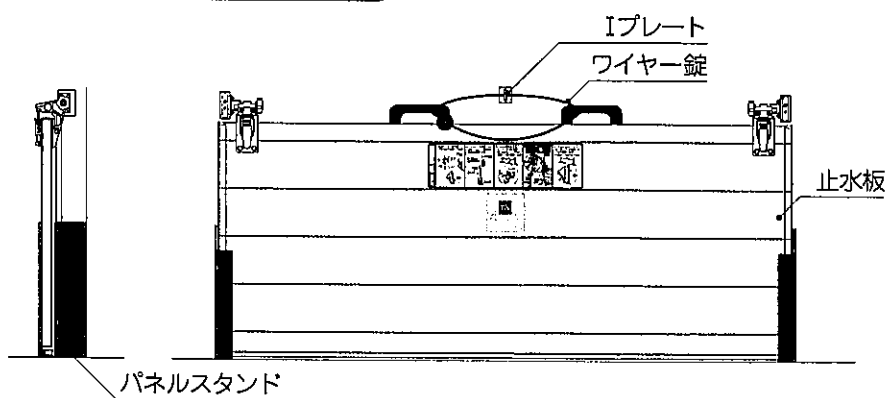
立て掛け収納（標準）



フック収納（オプション）



スタンド収納（オプション）



4. お手入れ方法

お手入れの仕方

スチール、ステンレス、アルミ、ゴム部品について

- 雨などにより、汚れが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とした後、固く絞った布などで水分をふきとってください。ゴム部はこすらず、布で押さえつけるように拭き取ってください。
- 水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用した後、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 強風の際（特に台風の場合）は、塩分が内陸部まで飛来することがありますので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。

スチール、ステンレス、アルミ、ゴム部品の共通注意事項

- 製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。
- 酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

お手入れの目安

設置した場合は毎回、未使用の場合は1年に1回程度、下記要領にて点検してください。

- ①「ラクセット」「中柱」付属の金具やゴムに破損、部品の不足、部品のゆがみはないか
- ②ゴムが劣化していないか
- ③「ラクセット」本体に破損、へコミはないか
- ④塞ぎねじがスムーズに外せるか

上記要領にてお手入れしたのち止水板、金具、ゴムは、よく乾かしてから収納してください。

※点検し、不具合があった場合は最寄りの文化シャッター（株）支店、営業所もしくは取扱店にご相談ください。

ステンレス部品の注意事項

- ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
- 初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展しますので、早めの清掃が必要です。

保管方法

- 上記要領にてお手入れ後、止水板のゴムがつぶれないように保管してください。
- できるだけ高温・多湿・日射・雨がかりをさけて保管してください。
- 保管時に上に物を載せないでください。
- 防火設備から15cm以上離れたところで保管してください。
- 金具類に力が掛からないように保管してください。

5. 点検

定期点検と定期的な部品交換について

定期的な部品交換について（有償）

- 「ラクセット」に使用されている部品には、表面上は正常に見えても経年劣化等により機能が低下するものもあります。

以下の部品は動作安全上、止水性能上、定期的に交換する事が不可欠です。

※ 交換時期は定期点検契約に基づいた点検・整備が行われている場合の目安です。

※ 交換時期は目安であり、使用状態、使用環境によって大きく異なります。

[定期交換部品と交換時期の目安]

定期交換部品	交換時期の目安
止水ゴム	2年
中柱底部の止水ゴム	2年

※ 年数は部品毎の交換の目安を示すものであり、製品全体の耐久回数を示すものではありません。

※ 「定期交換部品」とは、「経過年数、使用回数などにより、機能および性能を損なう恐れがあらかじめ想定できる部品」です。「定期点検時に異常が認められたもの」「不時の故障が発生した場合」については、その都度、交換または修理を行います。

※ 定期交換部品は予告なく変更する場合があります。

定期点検契約のおすすめ

- 「ラクセット」を安心してお使いいただくためには、機能低下を防ぐためにお客様でお手入れを実施してください。

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品の交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。点検の記録は当社に保管し、お客様にその都度報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部です。

定期点検契約について

- 定期点検については、当社営業所もしくは、20ページに記載してある文化シャッターサービス株式会社にお問い合わせの上、「定期点検契約」を結んでください。

定期点検内容

- 機能・性能の保持のために各部品の損傷・摩耗状態をチェックし、必要に応じて調整・修復・交換・注油・ボルト等の増し締めなどを実施し、正常に動くよう入念に調整いたします。

6. 修理のご案内

修理のご用命はATSSへ——

突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シャッターサービス株式会社のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

アットタイムサービスシステム

ATSS

修理に関するお問い合わせは

フリーダイヤル



0120-365-113

365日いいサービス



ご修
案理
内の